

2015年8月18日
SMBC日興証券株式会社**SMBC日興証券、「IBSA ブラインドサッカーアジア選手権 2015」に協賛**

SMBC日興証券株式会社は、「多様性の尊重」を経営理念の柱の一つとしており、「ブラインドサッカーを通じて、視覚障がい者と健常者が当たり前になり混ざり合う社会を実現する」という日本ブラインドサッカー協会※のビジョンに深く共鳴し、このたび、CSR 活動の一環として「IBSA ブラインドサッカーアジア選手権 2015」に協賛することといたしました。

リオデジャネイロ・パラリンピックの予選となる今大会は、日本、中国、韓国、イラン、マレーシア、インドの計6カ国が参加し、上位2カ国(優勝国、準優勝国)にパラリンピックの出場権が付与されます。

なお、今回の協賛は、昨年11月に日本で開催された「IBSA ブラインドサッカー世界選手権 2014」、本年5月に日本ブラインドサッカー協会と合意したスペシャルパートナー契約に引き続き行うものです。



<IBSA ブラインドサッカーアジア選手権 2015 大会ロゴ>



<前回 2011 年の仙台大会の様子>

当社はこれまで、金融の力を、世代を超えた未来に活かすべく、本業を通じた CSR 活動に取り組んでまいりました。また、多様性を尊重することにより、性別や障がい、国籍、人種等の別なく社員全員がともに輝き、活躍できる企業を目指し、会社をあげて取り組んでおります。

今後も、当社はブラインドサッカー支援をはじめとする様々な活動を通じて、「人にやさしい社会」の実現に貢献してまいります。

※ 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会正会員で、「日本視覚障害者サッカー協会」として2002年10月に設立、2010年8月に「日本ブラインドサッカー協会」に改称しています。「ブラインドサッカーを通じて、視覚障がい者と健常者が当たり前になり混ざり合う社会を実現すること」をビジョンに、また「ブラインドサッカーに携わるものが障がいの有無に関わらず、生きがいを持って生きること」に寄与すること」をミッションに掲げ、様々な事業を展開しています。理事長は釜本美佐子氏です。また、ブラインドサッカーは、全盲クラス(B1)の選手がアイマスクを装着し、転がすと音の出るボールでプレーする5人制サッカーです。

詳しくは、(<http://www.b-soccer.jp/>)をご覧ください。

大会概要

- 大会名: **IBSA ブラインドサッカーアジア選手権 2015**
IBSA Blind Football World Championships 2015
- 主催: 日本ブラインドサッカー協会 (JBFA: Japan Blind Football Association)
IBSA ブラインドサッカーアジア選手権 2015 組織委員会
- 共催: 国際視覚障害者スポーツ連盟 (IBSA: International Blind Sports Federation)
公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会
- 後援(予定): 文部科学省／厚生労働省／独立行政法人日本スポーツ振興センター
公益財団法人日本サッカー協会／東京都／公益社団法人東京都障害者スポーツ協会
公益財団法人東京都サッカー協会／渋谷区／新宿区
- 大会日程: **2015年9月2日(水)～7日(月)**
- 会場: 国立代々木競技場フットサルコート (仮設スタンド設置)
〒150-0041 東京都渋谷区神南2丁目1-1
- 競技クラス: **B1(全盲)クラス**
- 出場チーム数: **6チーム(日本、中国、韓国、イラン、マレーシア、インド)**
- 大会方式: **6チーム総当たりのグループリーグ。その順位に応じて、順位決定戦を行う。**
上位2カ国(優勝国、準優勝国)には、**2016年リオデジャネイロ・パラリンピックの出場権**
が付与される
- 大会事務局: 日本ブラインドサッカー協会
〒169-0073 東京都新宿区百人町1-23-7 新宿酒販会館2階
- 大会公式サイト: <http://www.asia2015-blindfootball.com/>

以上